

| | | | |
|---------------|-------------------|------------|-----------|
| 提携先 | J A 岩手南 | 記入日 | 2008/8/12 |
| 登録消費材名 | 無洗米岩手一関、もち米 2 k g | | |

． これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

・(うるち) 山谷地区で減農薬栽培米の推進を行って来ているが、現在の減農薬栽培基準では、雑草対策・イモチ対策が難しい圃場があり減農薬栽培の面積が伸び悩みである。
 ・(もち) 特別栽培米で使用する資材(肥料)代が高く、収量も慣行より少ないため栽培面積が増加しない。

． 前年に努力したことへの評価(成果や課題)

・山谷地区の減農薬栽培米は、座談会での生産者への説明また、あぜみち相談会へクラブ生協の役員が出席し意見交換などをし、併せて地元の農家組合長の呼びかけにより平成 20 年の減農薬栽培面積が拡大した。

． 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

・(うるち) 引続き座談会等で組合員へ説明をし併せて地元農家組合長の協力をいただき山谷地区減農薬栽培米の面積の拡大を図る。また、周辺地域への都 ” 里夢米協議会への参加を呼びかけ面積・数量の確保を検討して行く。
 ・(もち) 生産者への呼びかけを図るとともに、肥料設計(無化学から減化学へ)を検討し収量のアップを図る。